

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

Obinutuzumab 療法【維持療法】

8 週毎 コース予定

疾患名 悪性リンパ腫

主治医 指導医 HBs 抗原(+ -) HBc 抗体(+ -) HCV 抗体(+ -)

スケジュール

		day 1
ガザイバ(オビヌツズマブ)	1000 mg/body	↓

- 【注意】*
- * オビヌツズマブ施行時は体温・脈拍・血圧測定・SpO₂測定は up 直前におこなうこと
 - * 維持療法は免疫化学療法の最終投与日から 2 ヶ月(±14 日)後に開始すること
 - * 投与は最大 2 年間を目安とすること
 - * ニューモシスチス肺炎予防として ST 合剤の投与を検討すること
 - * オビヌツズマブ投与は 0.2 又は 0.22 μm インラインフィルターを通して投与すること
 - * オビヌツズマブの投与歴がない場合は 12mL/時間で開始すること

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

day 1

- ① 生食 500 mL にて血管確保 維持(20 mL/時間)
- ② イブプロフェン(100 mg) _____ 錠 ポララミン(2 mg) _____ 錠 内服
- ③ デキサメタゾン注 6.6 mg(2 mL) + 生食 20 mL 側管静注

☆30 分後より

※前回投与において発現した有害事象が Grade 2 以下であった場合

- ④ ガザイバ 1000 mg + 生食 210 mL
 - ◎ 輸液ポンプにて 25 mL/時間で点滴静注
- ⑤ 25 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 50 mL/時間で点滴静注

Obinutuzumab 療法【維持療法】

⑥ 50 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎ 輸液ポンプにて 75 mL/時間で点滴静注

⑦ 75 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎ 輸液ポンプにて 100 mL/時間で点滴静注

	コース	コース	コース	コース	コース	コース
月 日	/	/	/	/	/	/
ガザイバ 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確 認						

	コース	コース	コース	コース	コース	コース
月 日	/	/	/	/	/	/
ガザイバ 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確 認						